

令和7年度

認知症看護認定看護師教育課程（入学選考試験問題）

専門科目 I

以下の問いに答え、当てはまる番号を1つ選び回答欄に記入しなさい。

【問題 1】わが国の高齢化の動向（内閣府，令和6年度版高齢社会白書）について、正しいのはどれか。

1. 65歳以上人口の男女比は約2対4である。
2. 75歳以上人口は65～74歳人口を下回っている。
3. 「老年化指数」では老年人口が年少人口の3倍になった。
4. 令和52年には高齢化率が38.7%に達すると推計されている。

【問題 2】スミス（Smith, J.A.）の4つの健康モデルについて、誤っているのはどれか。

1. 適応モデル
2. 幸福論モデル
3. 役割遂行モデル
4. セルフケアモデル

【問題 3】発達課題について、老年期の説明として正しいのはどれか。

1. ペック,R.Cは、老年期における4つの危機を示した。
2. レビンソン,D.J.は、人間の発達段階の分類を5段階で分けた。
3. ハヴィーガースト,R.J.は、老年期の発達課題として6項目を提示している。
4. エリクソン,E.H.は、老年期の発達段階における「生きる力」を「愛」としている。

【問題 4】アクティブ・エイジングの説明として、正しいのはどれか。

1. 厚生労働省が提唱している。
2. 健康寿命を延長することを目的としている。
3. 高齢者同士の互助や連携の強化が主軸となっている。
4. 高齢者の健康、参加、安全を増進する政策を推奨している。

【問題 5】高齢者の健康障害について、誤っているのはどれか。

1. 検査値の分布幅は個人差がある。
2. 典型的な症候や症状が顕著に出現する。
3. 臨床的特徴の一つとして複数の疾患に罹患しやすい。
4. フレイルとは、身体的・精神的・社会的問題を含む概念として認識されている。

【問題 6】加齢に伴う視覚機能の変化について、正しいのはどれか。

1. 明暗順応の時間が短縮する。
2. 下方周辺の視野が低下する。
3. 近点 30 cm 程度の文字が見えにくくなる。
4. 色材の 3 原色のうち短波長（青色）系が見やすくなる。

【問題 7】加齢に伴う聴覚機能の変化について、正しいのはどれか。

1. 音の処理速度が遅くなる。
2. 音の明瞭度の幅が広くなる。
3. 2000Hz 以下の音域の聴力低下がある。
4. 選択的に音を聞き分けることは保たれる。

【問題 8】加齢に伴う運動機能の変化について、正しいのはどれか。

1. 男女の差はなく骨量が減少する。
2. 歩行の速度・歩幅・歩隔が減少する。
3. 姿勢を保持するための筋・神経協応能が低下する。
4. 脊椎の後彎に対して骨盤全体を前傾して姿勢を保持する。

【問題 9】加齢に伴う循環器系の機能・構造の変化について、正しいのはどれか。

1. 脈拍数が増加する。
2. 心臓の容積が減少する。
3. 血液凝固能が低下する。
4. 弁膜に石灰化が生じる。

【問題 10】加齢に伴う呼吸器系の機能・構造の変化について、誤っているのはどれか。

1. 残気量が低下する。
2. 1 秒率が低下する。
3. 気道クリアランスの効率が低下する。
4. 胸郭コンプライアンスが低下する。

【問題 11】加齢に伴う消化器系の機能・構造の変化について、正しいのはどれか。

1. 歯牙が欠損する。
2. 胃粘膜が萎縮する。
3. 肝臓の代謝機能が上昇する。
4. 下部食道括約筋が弛緩する。

【問題 12】キャッテル (Cattell RB) の提案した知能について、正しいのはどれか。

1. 知能は加齢に伴い低下する。
2. 流動性知能と結晶性知能に大別される。
3. 流動性知能は 60 歳前後で発達のピークを迎える。
4. 結晶性知能は問題解決や空間認知、情報処理速度の向上に関する能力である。

【問題 13】アドバンス・ケア・プランニング (ACP: Advance Care Planning) の考え方について、正しいのはどれか。

1. 治療やケアの選択は随時見直される。
2. ACP は終末期を迎えることが予測される際に行われる。
3. 本人の意思の確認が困難な場合は家族の意思が優先される。
4. 意思決定能力が低下した場合の代理判断者の決定は含まれない。

【問題 14】介護保険制度について、正しいのはどれか。

1. 保険者は各都道府県である。
2. 介護保険の財源はすべて介護保険料である。
3. 介護保険法で定められた「特定疾病」は、16 疾病である。
4. 第 1 号保険者は 40 歳以上 65 歳未満の医療保険加入者である。

【問題 15】介護保険サービスについて、正しいのはどれか。

1. 施設サービスは4種類ある。
2. 要介護1は予防給付サービスの対象となる。
3. 地域密着型サービスは都道府県が指定・監査を行う。
4. 介護給付サービスには居宅サービスと施設サービスがある。

【問題 16】地域包括ケアシステムについて、正しいのはどれか。

1. 支援・サービスを受ける場所は、住み慣れた地域である。
2. 2030年までに、地域におけるサービス提供体制を構築する。
3. おおむね60分以内の日常生活圏域を想定したシステムである。
4. 高齢者が自立した生活を営むための全国一律の支援体制である。

【問題 17】日常生活自立支援事業について、正しいのはどれか。

1. 福祉サービスの利用援助や財産管理を行う。
2. 申請窓口は市町村の社会福祉協議会である。
3. 行政手続きに関する援助は無料で受けることができる。
4. 認知症高齢者や、知的障害者、精神障害者で判断能力を失った利用者が対象となる。

【問題 18】成年後見制度について、正しいのはどれか。

1. 家庭裁判所が成年後見人を選任する。
2. 市民後見人は市町村長により選出される。
3. 法定後見制度は後見・補佐の2つに分かれている。
4. 成年後見人は財産管理のみで、身上監護は含まない。

【問題 19】高齢者虐待防止法について、正しいのはどれか。

1. 虐待発見者の通報義務違反に対して法的罰則を定めている。
2. 高齢者虐待を発見した場合は警察に通報することを定めている。
3. 高齢者虐待の種類は身体的・心理的・財産的虐待の3つに分類される。
4. 生命に莫大な危険がある場合、市町村長は立ち入り調査を指示することができる。

【問題 20】「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」について、誤っているのはどれか。

1. 国及び都道府県市町村の責務の明確化
2. 「共生」と「予防」を両輪とした施策の推進
3. 若年性認知症の人の就労についての事業者への啓発
4. 社会のあらゆる分野における認知症の人の社会参加の機会の確保

【問題 21】せん妄について、正しいのはどれか。

1. 意識障害はない。
2. 急激に悪化する。
3. 会話の理解は可能である。
4. 認知機能の低下は不可逆的である。

【問題 22】老年期のうつ病について、正しいのはどれか。

1. アパシーを伴う。
2. 症状の日内変動はない。
3. もの忘れの自覚がある。
4. 認知機能への影響はない。

【問題 23】軽度認知機能障害（MCI）について、正しいのはどれか。

1. 健常に戻る場合もある。
2. 本人の症状の自覚がない。
3. 日常生活の自立に支障がある。
4. 神経心理検査では異常が認められない。

【問題 24】ICD-10（国際疾病分類 第10回）の認知症の診断基準に含まれないのはどれか。

1. 無感情
2. 易刺激性
3. 情緒的易変性
4. 社会行動の精密化

【問題 25】認知機能障害の評価スケールについて、正しいのはどれか。

1. 質問式評価尺度では、家族からの情報が必要である。
2. Functional Assessment Stages (FAST) は重症度を判定する。
3. Clinical Dementia Rating (CDR) は施行者による結果のばらつきがない。
4. 長谷川式簡易知能評価スケール改訂版 (HDS-R) は記憶の程度を判定する。

【問題 26】Mini-Mental State Examination(MMSE)の説明で、正しいのはどれか。

1. 視空間認知能力を検討できる。
2. 9項目の質問式評価尺度である。
3. 21点以上が非認知症とされている。
4. アルツハイマー型認知症に特化している。

【問題 27】組み合わせとして正しいのはどれか。

1. アルツハイマー型認知症・・・ピック病
2. 血管性認知症・・・意味性認知症
3. レビー小体型認知症・・・パーキンソン病
4. 前頭側頭型認知症・・・ビンズワンガー症候群

【問題 28】早期に治療を行えば治癒する可能性の高い認知症の原因疾患として、正しいのはどれか。

1. ビンズワンガー病
2. 脊髄小脳変性症
3. 慢性硬膜下血種
4. 進行性核上性麻痺

【問題 29】認知症の原因疾患の病態で誤っているのはどれか。

1. 血管性認知症は、脳血管障害に起因する認知症の総称である。
2. 前頭側頭型認知症は、タウ蛋白蓄積による神経原線維変化により発症する。
3. アルツハイマー型認知症は、アミロイドβ蛋白の蓄積により老人斑が出現する。
4. レビー小体型認知症は、αシヌクレインを主体成分としたレビー小体が原因となる。

【問題 30】アルツハイマー型認知症の特徴について、正しいのはどれか。

1. 被害妄想が主症状である。
2. 後頭葉の血流低下を認める。
3. 手続き記憶は中等度でも保たれる。
4. 早期からコミュニケーション能力が低下する。

【問題 31】血管性認知症の特徴について、正しいのはどれか。

1. 記銘障害を主とする記憶障害がある。
2. 抗認知症薬により ADL の改善が認められる。
3. アルツハイマー型認知症を合併していることが多い。
4. ラクナ梗塞などの脳小血管病では、急激に進行する。

【問題 32】前頭側頭型認知症の特徴について、正しいのはどれか。

1. 自律神経障害を認める。
2. 早期から脱抑制が出現する。
3. 視空間認知機能が低下する。
4. 単一光子放射断層撮影法（SPECT）で側頭葉後方部の血流低下を認める。

【問題 33】レビー小体型認知症について、正しいのはどれか。

1. 病識の欠如がある。
2. 初期に記銘力の障害を認める。
3. 覚醒レベルにより認知機能が変動する。
4. 中期以降にパーキンソン症を発症する。

【問題 34】認知症の行動・心理症状（BPSD：Behavioral and Psychological Symptoms of Dementia）について、正しいのはどれか。

1. 周囲からの不適切な関り方が影響する。
2. 症状の治療は、薬物療法が第一選択となる。
3. 中核症状に伴って必ず生じる二次的な症状である。
4. 徘徊や興奮などの過活動状態の症状を分類したものである。

【問題 35】抗認知症薬について、正しいのはどれか。

1. ドネペジル塩酸塩には添付剤がある。
2. リバスチグミンには液剤、ゼリー剤がある。
3. メマンチンの副作用は、悪心・嘔吐である。
4. ガランタミン臭化水素塩は高度認知症に適応となる。

【問題 36】認知症の人への非薬物療法について正しいのはどれか。

1. 音楽療法は、行動に焦点をあてたアプローチである。
2. 回想法は、生年月日や出生地を繰り返し伝え記憶を強化する。
3. バリデーション療法は、共感的に対応することで心理的安定を図る。
4. リアリティ・オリエンテーションは、昔使っていたなじみ深い物を手掛かりに行う。

【問題 37】移転ストレス症候群(RSS: relocation stress syndrome)における移転のタイプで、誤っているのはどれか。

1. 転居
2. 入所・入院
3. 施設内移転
4. 日帰りの温泉旅行

【問題 38】失語症状のある認知症の人へのコミュニケーションの支援として、正しいのはどれか。

1. 表情や声のトーンは変えない。
2. 質問はオープンクエッションにする。
3. 言い間違いは指摘せず、さりげなく正しい言葉を返す。
4. 話そうとしていても時間がかかる場合は、言いたいことを代わりに話す。

【問題 39】洋服の着方が分からない認知症の人への看護について、正しいのはどれか。

1. 着方を説明する。
2. 全面的に介助する。
3. 実際に着てみせる。
4. 次の動作を一つ一つ指示する。

【問題 40】 治療を受ける認知症の人への関わりで、適切なのはどれか。

1. 内服薬は医療者や介護者が全て管理する。
2. 点滴治療中は、生活動作全般にわたり援助する。
3. 治療について、書いたものを見えるところに貼る。
4. 治療についての質問には、正しい専門用語で繰り返し説明する。

【問題 41】 落ち着かない認知症の人への関わりで、適切なのはどれか。

1. 気分転換に散歩を促す。
2. 穏やかな口調で関わる。
3. 原因について本人に詳細に聞く。
4. 刺激を与えないように、個室に誘導する。

以下の事例を読み、【問題 42】～【問題 44】に対する適切な答えを一つ選んでください。

A 氏は 78 歳の女性で、長男夫婦と孫の 4 人暮らしである。専業主婦で、孫の面倒もよくみていた。半年くらい前からごみの出し忘れや洗濯物の取り込み忘れがあり、嫁が家事全般を行うようになった。3ヶ月前から、「私の財布を盗ったでしょう」と嫁を責めたり、息子に「嫁がいじめる」と訴えるようになったため、もの忘れ外来を受診し、アルツハイマー型認知症と診断された。

【問題 42】 A 氏の被害妄想に対する対応として、正しいのはどれか。

1. 否定しない。
2. 事実を説明する。
3. 状況を詳細に聞く。
4. 家族に対する感情を聞く。

【問題 43】 医師の説明場面における援助として適切でないのはどれか。

1. 本人の表情や仕草を注視する。
2. わかりやすい言葉で補足する。
3. 説明内容の理解度を確認する。
4. 本人と家族を別々に呼び入れる。

【問題 44】 家族への助言として適切なのはどれか。

1. 「ヘルパーを導入しましょう」
2. 「本人と一緒にできることを協力して行いましょう」
3. 「被害妄想は病気によるものなので我慢しましょう」
4. 「介護支援専門員（ケアマネジャー）に相談しましょう」

以下の事例を読み、【問題 45】～【問題 47】に対する適切な答えを一つ選んでください。

B 氏は 85 歳の女性で、長女と同居している。半年前から「家の中に誰か知らない人がいる」「子供がいるから菓子をやってくれ」と言うことが多くなった。また、明瞭に会話ができるときと、反応が鈍くなるなど変動が生じるようになった。元々お洒落に気を遣っていたが、構わないようになり、数週間前から睡眠時に大きな声で話し、手や足をばたつかせることが頻回になった。また、転倒を繰り返すため、長女の付き添いで病院に受診した。検査の結果、レビー小体型認知症と診断された。

【問題 45】 B 氏のレビー小体型認知症の症状として、正しいのはどれか。

1. 妄想
2. アパシー
3. ジスキネジア
4. レム期睡眠行動異常

【問題 46】 B 氏に対する援助で適切なのはどれか。

1. 日常生活全般の介助を行う。
2. 現実と異なった話は修正する。
3. 覚醒度に応じて日中の活動を行う。
4. 転倒予防のために車いすを使用する。

【問題 47】 環境調整について、長女への助言で適切なのはどれか。

1. 「日中は部屋を明るくしましょう」
2. 「自分の姿を確認できるように鏡を置きましょう」
3. 「目につくところにカレンダーや時計を置きましょう」
4. 「取りやすいように良く着る服を壁にかけておきましょう」

以下の事例を読み、【問題 48】～【問題 50】に対する適切な答えを一つ選んでください。

C 氏は 63 歳の男性で、会社員として勤務していた。1 年前頃より会議中に突然部屋を出て行ったり、同僚と会話中に他の社員が横を通るとついて行くといった行動が続いた。家庭では自室にこもりがちになり、一ヶ月前からは無断欠勤が続いた。心療内科を受診したが、状態が改善しないため休職した。自宅療養中も同じ時間に散歩に出かけ、近所の庭の花を黙って切るなどの行為から近隣とトラブルを繰り返すようになった。認知症疾患医療センターを受診し、前頭側頭型認知症と診断され、入院となった。主食は自分で食べるが、副食は同じメニューでないと食べなかった。作業中いつも座っている席に他の患者が座っていると、「どけ」と言って怒鳴り、トラブルを繰り返していた。

【問題 48】 C 氏の中核症状として、誤っているのはどれか。

1. 常同行動
2. 複雑性注意障害
3. 社会的認知障害
4. 被影響性の亢進

【問題 49】 C に対する援助で適切なのはどれか。

1. 1 日のスケジュールを決める。
2. 日中は他の患者と離れた場所で過ごすようにする。
3. 安全のためにベッド周囲に物を置かないようにする。
4. 他の患者とのトラブルがあった場合は、複数のスタッフで関わる。

【問題 50】 C 氏の食事の援助で適切なのはどれか。

1. メニューを伝える。
2. 副食をご飯の上にのせる。
3. 栄養バランスを整える必要性を説明する。
4. こだわっている食品を確認し、メニューに取り入れる。